

2024 年度全学共通科目学生懇談会 実施報告書

日 時 令和 6 年 12 月 25 日（水）10:00～12:00

場 所 教職員ラウンジ

参加者 高橋大教センター長、三宅共通教育部長、岡田調査研究部長、教育学部生 2 名、法学部生 2 名、
経済学部生 1 名、医学部生 2 名、創造工学部生 2 名、農学部生 1 名

陪 席 角田、中川、宮崎、木村（修学支援課）

懇談会の開催に先立ち、高橋センター長より代表挨拶と趣旨説明が行われた。その後、岡田調査研究部長による自己紹介レクをはじめ、今年度の懇談会では 4 つのテーマに基づき、グループワークを交えた意見交換・聴取の場とする旨が伝えられた。共有された意見は以下のとおり。

① 「学問への扉」について

・授業を受講した人は、「学問への扉」の感想を教えてください。

・加えて、「分野横断科目」としてこんな授業を開講してほしいという要望があれば教えてください。

→ 今回の参加学生 10 名の中で「学問への扉」を受講していたのは 5 名。一つの事柄を深めて追及するのではなく、様々な分野への興味・関心を広げられるような科目群であった。様々な分野にわたる授業が用意されているうに、専門分野への「とっかかり」となるような授業が多かった。特定の授業としては、「越境する学問」では、色々な視点から物事を考えるということに取り組むことができ、「大学的香川ガイド」では、大学教員から見た香川を知ることができ知見を広げられたと感じる。「英語の古典」のような、日本語と英語のニュアンスの違いを学べる科目があり、もっと学びたいと感じた。

② クォーター型科目について

・クォーター型科目の期間（短いと感じるか否か）、内容（情報量の少なさを感じるか等）について意見を教えてください。

→ 期間は短すぎず長すぎず、丁度良いと感じる。色々な専門分野の科目を履修することができるため、メリハリを付けて授業を受講することができた。授業内容が面白い、興味関心があると思った科目については全 8 回の授業では足りないと思うこともあったが、反対に、自分の興味関心とは少し離れていて、あまり合わないと思った際には、セメスター科目のように長期間拘束されて受講する必要性が無いため、それが利点だと感じた。

③ 大学入門ゼミについて

・「大学入門ゼミ」で学んだ情報整理の方法、レポートの書き方、日本語技法等々の内容を他の授業でも活用するのは難しいでしょうか？

・その際、どのようなサポート、指導があれば活用しやすいと思うか、教えてください。

→ パワーポイントの作成方法や発表の仕方について多くを学ぶことができ、今も大学入門ゼミで学んだ内容が大学生活で活用できているのは、担当教員の先生が丁寧に指導をしてくださったからである。しかし、知識としては参考になることばかりだが、授業担当教員やクラスによって教育内容に差が生まれ

ているのではないかと感じる部分もあった。特に「レポートの書き方」については、レポートが添削・返却されないと改善点を見つけることができないため、きちんとしてフィードバックされることを望む。

④ アクティブラーニングについて

- ・全学共通科目でアクティブラーニングを経験したことはありますか？
- ・経験したことがある人は、何の授業でどのような活動をしたのか、その際に感じた魅力を教えてください。
- ・経験したことがない人は、アクティブラーニングを取り入れた授業を履修したいと思うのか否か、その理由を教えてください。

→ アクティブラーニングを経験したことがある。主には、大学入門ゼミや主題科目で、与えられた問題についてグループディスカッションを行い、プレゼンテーション発表をしたり、グループワークで他学部の方と交流しながら意見交換をしたりした。自分では思いつかないような意見に触れ、受動的な姿勢では得られない知見を得ることができた。過去に体験学習を含む授業を履修した際にとっても楽しかったため、今後もフィールドワーク等を取り入れた授業が開講される場合は挑戦したいと考えている。

最後に、参加した学生より今回の懇談会に参加した感想が寄せられ、「他学部の学生と全学共通科目について意見交換する機会を得られて貴重な時間であった」や、「全学共通科目を構成する教員の先生方が、こういった気持ちや問題意識を持って授業を開講してくださっているのか知ることができ、良い機会となった」等の意見が寄せられた。

高橋センター長からは、以下のとおり、統括が伝えられた。

カリキュラムの見直しにおいては、時代に合っているのか、学生のニーズに合ったものを提供できているのかを考えながら、試行錯誤して取り組んでいる。全学共通科目としての構成の意図がきちんと学生に伝わっているのか、本日の懇談会を通して、達成できている面とそうでない面を確認することができた。本日共有いただいた意見については、今後の運営において役立たせていただく所存である。

なお、個別の授業に対して寄せられた意見については、担当に共有し改善することとした。